

# 自分らしい生き方を選んだ人々



新潟新幹線運輸区 運転士 <sup>やまもと れいな</sup> 山本麗奈さん

在来線の運転士をしていた時に、最新の技術で造られている新幹線を運転してみたいと思うようになって新幹線運転士の試験にチャレンジしました。新幹線は多い時には1列車で1,600名以上のお客さまを乗せて走ります。

多くのお客さまの命をお預かりしていると思うと、この仕事の責任の重さを感じます。運転中は緊張感が絶えませんが、たくさんの方がホームや沿線で手を振ってくれる姿を見ると、地域の皆さまに愛されている新幹線を運転できて幸せだなと感じます。

これからも安全を第一に、お客さま・地域の皆さまの夢や笑顔に乗せて走る新幹線運転士でありたいです。

## 「私は看護師」

新潟市民病院 看護師 <sup>こばやし かず ゆき</sup> 小林一行さん

私が看護師になったのは「人と接する仕事、人のために役立つ仕事がしたい。」と思ったからです。赤ちゃんが元気になって退院していく時の赤ちゃんやお父さんお母さんの笑顔を見ると、看護師になって本当によかったと感じます。これからも皆さんからいつも信頼される看護師を目指して、ずっと努力したいと思っています。



今まで女の人だけと思っていた「幼稚園の先生・看護師」の仕事にも男の人がつき、男の人だけと思っていた「新幹線の運転士・整備士」の仕事に女の人がつくようになりました。みなさんも調べてみてください。

●女の人だけと思っていた仕事

●男の人だけと思っていた仕事

！あなたは、将来どんな仕事をしたいですか？

わたしの夢

●お家の人からコメントを書いてもらいましょう。  
応援メッセージ

## 保護者の皆様へ

新潟大学大学院教育学研究科 教授 相庭和彦

大人への入り口に立った子どもたちは、私たち大人が思っている以上に大人社会を意識しています。子どもたちは、自分になろうとする将来のロールモデルを見つけ出そうとしています。現代の大人社会は様々な性別役割分業が浸透した社会です。その中で「男らしさ」「女らしさ」という表現は大きな影響力を持っています。それは子どもたち自身にもっと身近な表現であり、自身の行動を規制する価値のようなものとなっています。実はこれが問題で、この価値は性を理由とした区別で、自らつきたい職業をあきらめるなどの子ども自身の将来を限定していく可能性が高い考え方です。教育は子どもたち一人一人の自己実現を支える営みです。教育関係者は、子どもたちが自らの自己実現を性を理由としてあきらめるという環境を認めるわけにはいきません。子どもたち一人一人が自身の将来を自己決定できる。そのためには「らしさ」に縛られないものの見方を考えることが大切です。この教材は子どもたちの「らしさ」に縛られない考え方を育てるために編纂されました。ご家庭でもこの教材をもとにぜひ話し合ってください。

# 自分らしく

## ①男だから!? 女だから!?

！次の①～④の絵を見て、吹き出しの中の言葉を考えてみましょう。



みなさんの身近にも似たようなことはありますか？

！上のような場面について、どう思いますか。みんなで話し合ってみましょう。

## ②「らしさ」ってなんだろう？

！ 下の絵のように、女子は「女らしく」、男子は「男らしく」と言われたことはありませんか。



！ 上の場面について、あなたはどのように考えますか。どうしてそう考えるのか、理由も含めて書きましょう。

---

---

---

---

---

！ どういうふうにすることが、自分らしくすることなのでしょうか。

---

---

---

---

---

## ③「わたしらしさ」を大切にするには？

！ 下の絵の子どもたちが、将来の夢について、話し合っている様子を見て、考えましょう。



！ けい子さん、よしおさんの意見を聞いて、あなたはどのように思いますか。

---

---

---

---

---

あなたには、どんな『自分らしさ』がありますか？  
みんなが『自分らしさ』を生かしていけるように  
するためには、どんなことが大切だと思いますか？